

きこりんと、地球のなかまたち。

2011年3月期第2四半期 業績説明会

# 業績総括と事業方針

代表取締役 社長 市川 晃

上期業績：前年比増収増益、期初計画も上回る。

コア事業である木材建材事業、住宅事業が好調。

## 外部要因

### 住宅着工戸数の回復

(10/9期持家着工159千戸、前期比+7.4%)

住宅支援政策の効果(フラット35S、エコポイント制度など)

## 内部要因

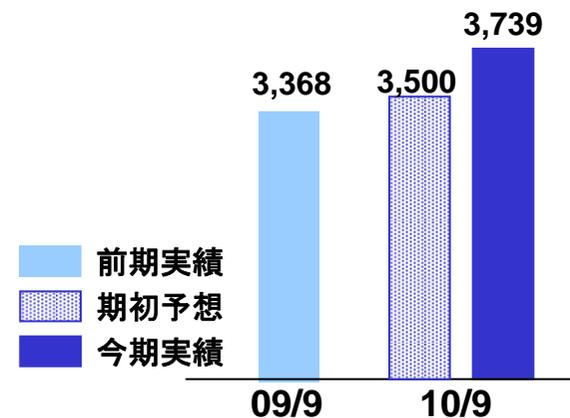
住宅：生産コストダウンと経費削減が進捗

木材建材：国内外の取引先との関係強化や、

在庫・品質・納期の徹底管理

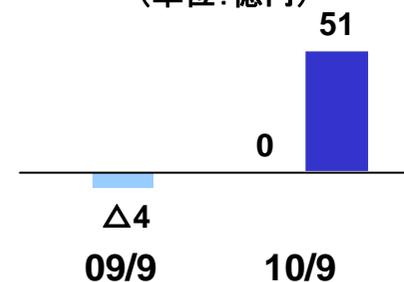
### <2Q累計売上高>

(単位：億円)



### <2Q累計経常利益>

(単位：億円)



下期業績：市場環境が急速に落ち込む可能性は低い。

ただし、下期業績については楽観視はしていない。

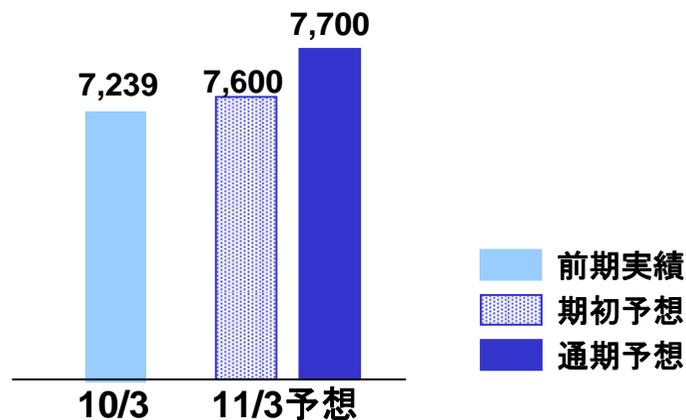
住宅着工の回復基調は続く予想

一方で、円高等による国内景気低迷の懸念がある。

配当：「安定配当」の方針の下に中間配当実施

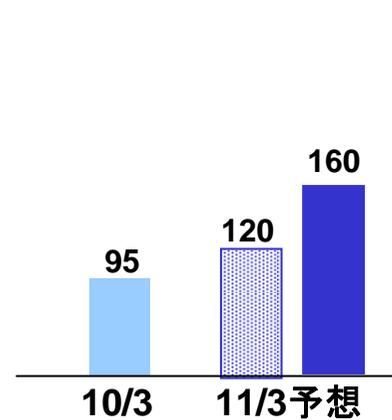
＜通期売上高予想＞

(単位：億円)



＜通期経常利益予想＞

(単位：億円)



受注: 対策を強化し、通期で9,000棟の達成を目指す。

＜主な下期の施策＞

## 3大住まい博の再開(東京、大阪、名古屋)

前期はインフルエンザの影響で中止

放映中のTVCM

## 広告戦略の強化

ビッグフレーム構法のTVCM



## IT戦略の展開

インターネットを利用した新たな販売戦略

## 支店でのミニ住まい博の継続

これらの施策で相乗効果を発揮し、受注拡大を図る

## 収益力の強化

住宅事業のコストダウンや一般管理費の削減

## 特色を出せるビジネスの展開

住宅事業：スマートハウスのモデルハウスをオープン

木材建材事業：3PL(サード・パーティ・ロジスティクス)事業推進

## 重点収益事業の推進

### 海外事業

ベトナムでパーティクルボード工場の建設に着手

### 不動産事業

多摩地区において地元産の木材を使ったまちづくりを推進

### リフォーム事業

引き続き事業拡大に向けた人員や拠点などの投資を継続

## 「国産材」及び「環境」に関するビジネス展開

### 当社の経験・ノウハウを発揮できる環境が整ってきた。

- ・政府は国産材の利用を推進し、木材自給率を50%に向上させる目標を掲げている。
- ・世界的規模で環境関連ビジネス市場も拡大している。

短期的に取り組むことと、中長期的に取り組むことを見極めて推進

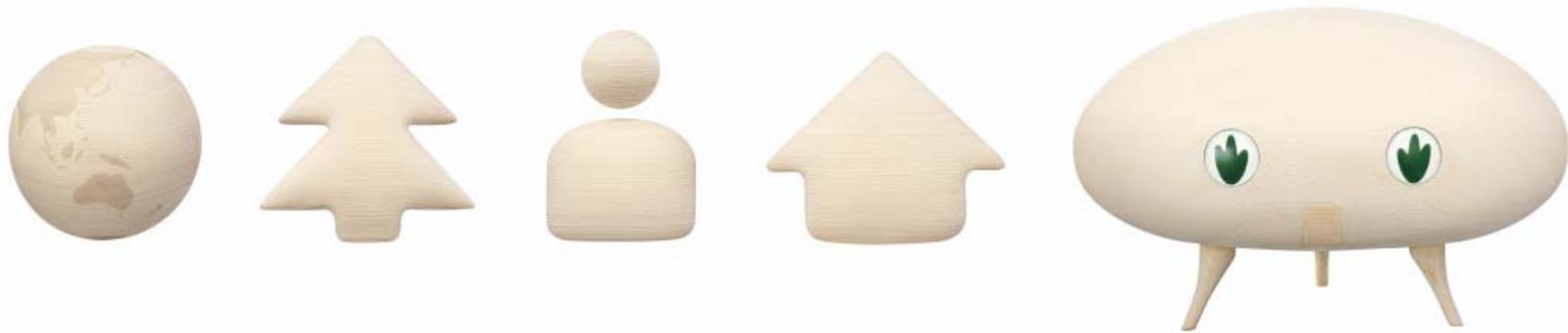


COP10併催の生物多様性交流フェアの当社ブース

現場重視：社員一人一人の力を結集し、グループ全体の  
総合力を発揮。

当社の経営資源を活かした商品、サービスの拡大

「木」・「環境」といったDNAとアイデンティティを守り、  
当社ならではの事業を展開



きこりんと、地球のなかまたち。

本資料上の予想数値は現時点での予測に基づいており、  
実際の業績はこれらの予想と異なる場合があります。